

TRAIL

いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」

第73号 2021年7月2日発行

いわき市産業振興部

**【全国】“一部に弱さが増加”に下方修正！
先行きは、“ワクチン接種”と“オリ・パラ”の動
向次第！**

**【いわき市】ほとんどの分野で悪化、厳しい
状況に！ 今後は“コロナ禍”の終息頼み！**

【経済・景気四方山話】“公益”にまつわる3話

- 渋沢栄一が問う“公益”の社会的意義！
- ESGは、“公益”の最適な分野！
- SIBによる新たな“公益”追及の仕組み！

2021年第Ⅰ期(1-3月)の国内総生産(GDP)1次速報値(5/18発表)は、緊急事態宣言による個人消費の低迷等で、

年	期	四半期	兆円	前期比	年率
20	I	1-3月	527	0%	-2%
	II	4-6月	484	-8%	-29%
	III	7-9月	507	5%	21%
	IV	10-12月	542	3%	13%
21	I	1-3月	534	-1.3%	-5%

前期比1.3%減(年率5.1%減)であった。2020年第Ⅲ期、第Ⅳ期と回復傾向にあったのが、ここに来て足踏み状態になっている。2020年度の年間通じた前年度比は4.6%減で、リーマンショック(3.6%減)を超え戦後最大の落ち込み幅である。

*2次速報値は△1.0%(年率△3.9%)に下方修正(6/8発表)。

経済・景気全般の総合判断を示す「月例経済報告」(5/26発表)は、「緊急事態宣言」により、GDPの過半を占める個人消費、なかでもサービス消費の大きな落ち込みから、前期の“弱さがみられる”

から“弱さが増している”と3カ月振りに判断を引き下げた。

先行きは、第Ⅱ四半期もマイナス成長との見方が強まっている。いずれにしても“ワクチン接種”の波及と“オリ・パラ”の影響次第。

■ いわき市の動向

● 経済・景気調査

大規模店舗販売額以外、ほとんどの分野が悪化。この厳しさからの脱皮には“コロナ禍”の終息しかない。

いわき市経済・景気判断の推移

年	四半期	判断内容
20	I期: 1-3月	“下降”のなか、3月には新型コロナ禍の影響！ 今後の悪化に懸念！
	II期: 4-6月	深刻な“コロナ禍”！ 回復努力に期待！
	III期: 7-9月	今期1も“コロナ禍”の影響！ 強まる先行き不透明感！
	IV期: 10-12月	コロナ禍の悪化テンポのなか、やや下げ止まってきた分野がみられる！
21	I期: 1-3月	ほとんどの分野で悪化、厳しい状況に！ 今後は“コロナ禍”の終息頼み！

【需要動向】

大規模店舗販売額が微増、新設住宅戸数がマイナスに転じた。自動車新規登録と観光施設利用と入湯税の減少が止まらない。公共工事等受注額が前年同期の3倍弱と景気の底われを防いでいる。

【企業動向】

信用保証承諾額が、中小企業融資残高の減少を超えて増加し、企業の資金繰り難を反映している。数件の企業倒産が継続している。

【雇用動向】

新規求人倍率と有効求人倍率はともにマイナスが続いており、依然厳しい状況にある。

● 景気ウォッチャー調査(21年5月時点)

現状DIは、住宅と小売りが増加し、全業種で3.7%増。先行きDIは1.4%増と前回とあまり変わっていない。

“自由意見”ではワクチン接種拡大へ期待が見とれる。

景気ウォッチャー調査(21/5)

区分	現状判断DI		先行判断DI	
	今回	前回差	今回	前回差
全業種	33.4	3.7	48.0	1.4
家計	29.6	4.1	48.8	2.0
小売	28.7	-2.1	48.1	5.8
飲食	30.0	23.7	55.0	5.0
サービス	29.8	15.3	45.2	-3.5
住宅	32.1	-17.9	57.1	-1.2
企業	40.8	6.2	43.4	4.9
雇用	46.4	-11.9	53.9	-8.6

(産業創出課)

目次

全国：“一部に弱さが増加”と下方修正！ 先行きは、“ワクチン接種”の波及次第！

いわき市：ほとんどの分野で悪化、厳しい状況に！
今後は“コロナ禍”の終息頼み！

経済・景気四方山話：“公益”にまつわる3話！

【いわき市の動向】

I 経済・景気調査：2021年第1四半期(1~3月)

1. 経済の動き(主要部門別・主要経済データ) 3
2. 景気の動き(景気動向指数) 9

【参考】- 景気動向指数の内容 - 国・県の動き

II 景気ウォッチャー調査：2021年5月時点 16

■ 経済・景気四方山話：“公益”にまつわる3話！

【キーワード】 渋沢栄一、合本組織、道徳経済合一、ドラッカー、SDGs、ESG、SIB、インパクト、コストパフォーマンス

● 渋沢栄一が問う“公益”の社会的意義！

この数十年、できる限り市場原理に任せるべきという新自由主義が主流になり、利益優先の企業行動が疑問視され始めている。本誌でも株式会社は、内部留保の積み増しを重視する株主優先型から、CSR（企業の社会的責任）や従業員の待遇改善等に重きを置くステークホルダー（利害関係者）優先型に舵が切られていることを紹介した*1。

今、同じ流れで渋沢栄一*2の理念が再評価されている。渋沢は、1867年（慶応3年）、徳川幕府が派遣したパリ万博への使節団に加わり、そこで社会から広く資金を集めて事業をする「合本（がっほん）組織」（株式会社）を知った。そして社会から広く資金を集める以上、その事業は社会的に意義がなければならない、と学ぶ。その後、1916年（大正5年）に「論語と算盤」を著し、「道徳経済合一」*3を唱える。つまり企業の行動規範は、“論語”の倫理と、“算盤”で象徴する利益が両立する“公益”であるべきで、企業の利益追求が社会全体の利益につながなければならないと説く。

興味深いことに、没後10年の今なおマネジメントの父として敬愛されている経営学者、ドラッカーも、“利益のために株式会社があるのではなく、事業を営んで社会的役割を果たすためにある”と同じ理念を説いている。

*1 「株式会社は誰のものであるか？」（本誌第68号。2020年3月27日発行）を参照。

*2 (1) 日本の資本主義の父といわれる。生誕180年を迎える。目下放映中のNHK大河ドラマ“青天を衝け”の主人公。2024年発行予定の“一万円札”の肖像に採用される予定。
(2) 銀行・保険・製紙等会社、経済団体、医療・福祉事業、教育機関等約500の会社・組織等の設立運営に携わり日本の産業の基盤を築いた（現日本製紙、現みずほ銀行、現東京商工会議所、現一橋大学等）。

*3 「論語と算盤」に“富をなす根源は何かと言えば、仁義道徳。正しい道理の富でなければ、その富は完全に永続することが出来ぬ”と述べられている。

● ESGは、“公益”の最適な分野！

最近よく言われるSDGs*4やESG（環境・社会、企業統治）の分野は、渋沢が説いた“公益”の最適な分野である。なかでもESGへの投資は、今、政府が強く打ち出している“2050年に温室効果ガス排出量をゼロとする”とする方針が追い風となっている。

社会と企業と関係では、これまでは企業が周辺環境に配慮するCSR（企業の社会的責任）が言われてきたが、このCSRとSDGsやESGへの投資とは、原資に基本的な違いがある。CSRの原資は企業活動結果で得た余剰利益であるが、SDGsやESGの方は企業の事業活動そのものなので事業コストに含まれている。このため、CSRは企業の財務状況が悪ければ実行されないが、SDGsやESGは財務状況に関係なく実行される。

今や、企業のSDGsやESGへの投資の成果が、企業の良否の判断基準のひとつになっているため、SDGsやESGへ投資が活発化している。

*4 SDGs（Sustainable Development Goals）は、「2030年までに持続可能な世界を目指す国際目標」で17のゴール・169のターゲットから構成されている。

● SIBによる新たな“公益”追及の仕組み！

SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）は、官民が連携して“公益”を達成する仕組みである。

掲図のように、【資金提供者】（金融機関、個人・機関投資家等）が投入する資金*5と、

【SIB運営者】

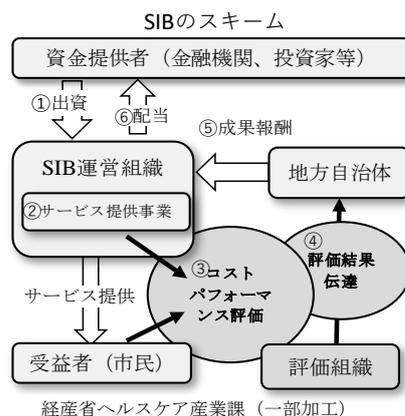
（企業、NPO等）が行うサービス提供事業のインパクト（投資に対する寄与・貢献度、影響度）とのコスト・パフォーマンス*6を、

【評価組織】（第三者で構成）が評価し、これが高評価の場合に限り、【地方自治体】が【SIB運営者】に成功報酬を支払う、というものである。というようにこの仕組みそのものが、“公益”を確保するものとなっている。なお図では省略してあるが、【中間支援組織】（各種調整、案件形成等を行う）が介在する場合もある。

この仕組みはすでに導入されている。“公益”の対象分野であるサービス提供は、医療、介護、教育の分野に多い。いわき市においても、導入に向けて検討してはどうか。

*5 クラウドファンディングを活用する場合もある。

*6 懸けた費用や労力によって得られる効果や満足度の程度のこと。最近では“コスパ”と言われることが多い。



（東日本国際大学名誉教授 大川信行）

I 経済・景気調査：令和3年第 I 四半期（1～3月）

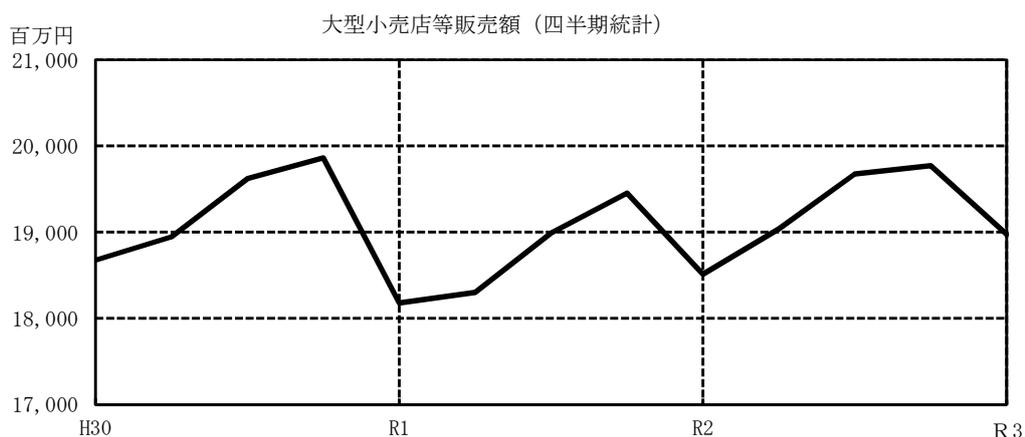
1 いわき市の経済の動き

（1） 主要部門の動向（令和3年第 I 四半期（1～3月）の状況）

① 需要動向

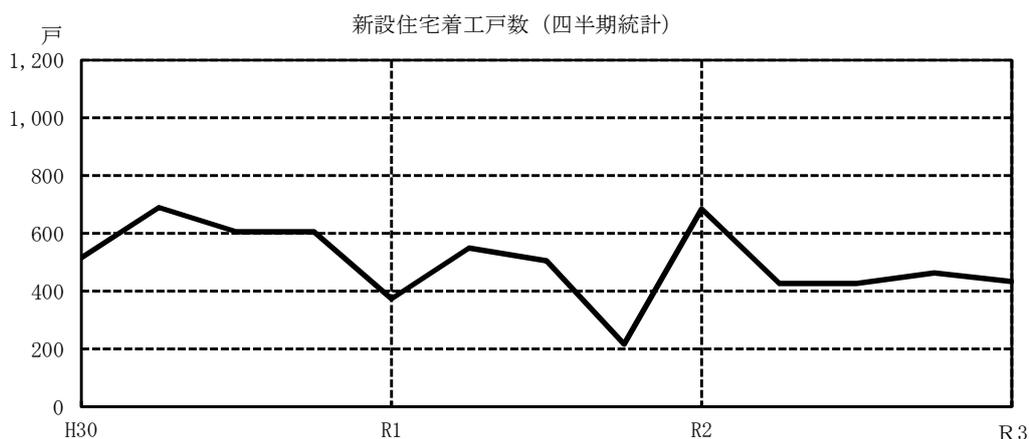
【個人消費】 ○ 第 I 四半期（1～3月）の大型小売店等販売額は約190億円（前年同期比2.5%の増加）となり、5四半期連続で前年の水準を上回った。

○ 自動車新規登録台数は5,541台（前年同期比1.6%の減少）となり、5四半期連続で前年の水準を下回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は434戸（前年同期比36.5%の減少）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った。

○ 公共工事等受注額は約533億円（前年同期比283.6%の増加）となり、2四半期連続で前年の水準を上回った。



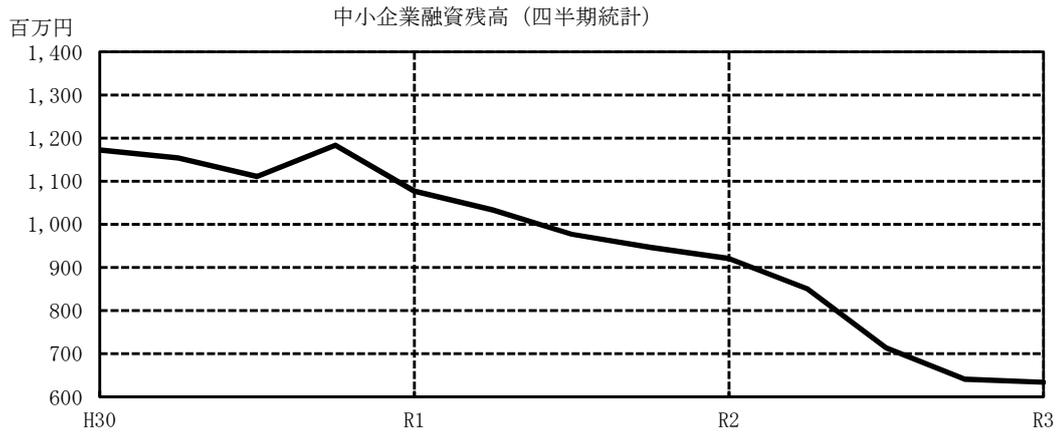
【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、30.7（前年同期比45.2%の低下）となり、7四半期連続で前年の水準を下回った。

② 企業動向

【生産活動】 ○ 第 I 四半期（1～3月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約30億円（前年同期比6.0%の増加）となり、3四半期連続で前年の水準を上回った。

【企業活動】 ○ いわき市中小企業融資残高は約6.3億円（前年同期比31.2%の減少）となり、平成31年第 I 四半期以来、9四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 負債1千万円以上の企業倒産件数は2件（前年同期比60%の減少）となり、3四半期振りに前年の水準を下回った（改善した）。

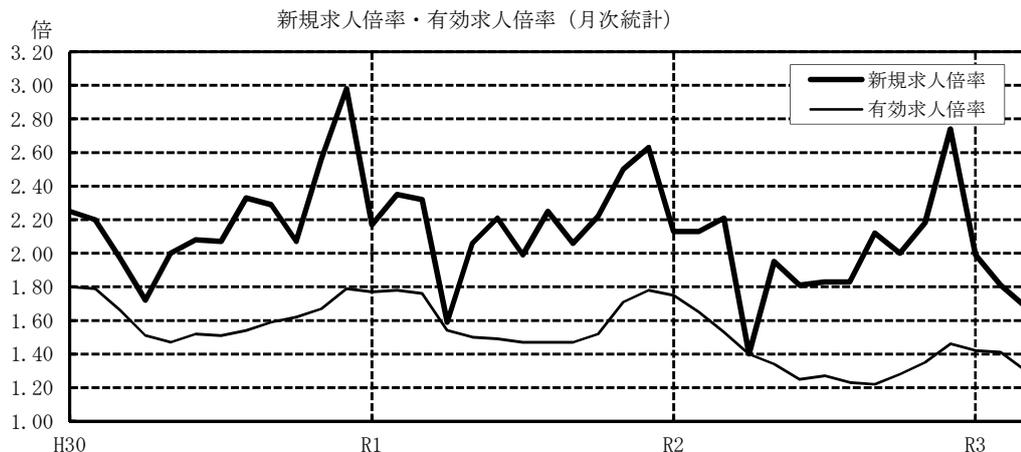


③ 雇用情勢

【雇 用】 ○ 3月の新規求人倍率は1.68倍（前年同月より0.53ポイントの低下）となり、3ヵ月連続で前年の水準を下回った。

○ 3月の有効求人倍率は1.30倍（前年同月より0.23ポイントの低下）となり、16ヵ月連続で前年の水準を下回った。

○ 第 I 四半期（1～3月）の雇用保険受給者実人員は3,493人（前年同期比2.2%の減少(=改善)）となり8四半期振りに前年の水準を下回った(改善した)。



(2) 主要経済データ

区分	需要動向													
	個人消費				建設需要						観光需要			
	大型小売店等販売額		自動車新規登録台数		新設住宅着工戸数		建築確認申請受付件数		公共工事等受注額		観光施設利用者指数		入湯税調定人員	
	(百万円)	前年同期比 (%)	(台)	前年同期比 (%)	(戸)	前年同期比 (%)	(件)	前年同期比 (%)	(百万円)	前年同期比 (%)	(H24・四半期平均 =100)	前年同期比 (%)	(人)	前年同期比 (%)
【年次統計】														
平成28年	81,763	2.5	20,034	-4.5	3,420	12.4	1,559	-11.0	49,098	1.5	398	-6.8	706,408	-7.4
29年	79,785	-2.4	20,681	3.2	3,448	0.8	1,467	-5.9	42,827	-12.8	398	0.1	696,264	-1.4
30年	77,103	-3.4	20,332	-1.7	2,417	-29.9	1,292	-11.9	23,677	-44.7	391	-1.8	678,555	-2.5
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	370	-5.4	640,323	-5.6
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	193	-47.9	359,932	-43.8
【四半期統計】														
令和元年 II	18,301	-3.4	4,466	-2.3	550	-20.3	293	-13.3	4,121	61.4	90.4	2.2	150,151	-8.3
III	18,989	-3.2	5,243	10.8	505	-16.7	272	-15.5	9,374	31.3	128.3	-2.3	168,606	-7.7
IV	19,454	-2.1	5,357	11.2	217	-64.2	220	-25.9	9,657	3.9	75.2	-13.5	155,302	-7.0
令和2年 I	18,513	1.8	5,631	-6.6	684	82.9	222	-25.8	13,889	-36.9	56.1	-26.4	161,119	-3.1
II	19,037	4.0	3,347	-25.1	427	-22.4	237	-19.1	7,978	93.6	10.5	-88.4	31,310	-79.1
III	19,677	3.6	4,585	-12.6	427	-15.4	288	5.9	9,350	-0.3	64.3	-49.9	55,549	-67.1
IV	19,772	1.6	4,542	-15.2	463	113.4	248	12.7	16,283	68.6	62.0	-17.5	111,954	-27.9
令和3年 I	18,974	2.5	5,541	-1.6	434	-36.5	279	25.7	53,279	283.6	30.7	-45.2	57,466	-64.3
【月次統計】														
平成31年4月	6,018	-3.9	1,353	-7.2	145	-56.7	105	0.0	1,182	8.6	27.7	-1.4	51,167	-11.5
令和元年5月	6,157	-3.9	1,478	1.7	89	-53.6	96	-1.0	914	76.8	34.7	7.0	47,762	-18.7
6月	6,126	-2.4	1,635	-1.4	316	93.9	92	-32.4	2,025	113.4	27.9	0.1	51,222	8.7
7月	6,129	-7.3	1,680	6.0	215	-24.0	94	-17.5	2,174	45.1	32.4	-5.3	45,690	-7.4
8月	6,708	-1.2	1,459	9.1	79	-66.1	85	-15.0	2,717	88.2	63.1	2.7	49,648	-7.1
9月	6,152	-1.0	2,104	16.1	211	134.4	93	-13.9	4,483	6.8	32.7	-8.2	73,268	-8.3
10月	5,936	-3.9	1,289	-21.1	143	-32.9	71	-37.2	5,354	5.9	22.2	-22.9	55,266	-0.4
11月	5,961	0.2	2,337	33.5	13	-91.1	65	-39.8	2,534	65.5	26.1	-12.4	47,817	-8.8
12月	7,557	-2.3	1,731	20.8	61	-75.3	84	10.5	1,769	-34.8	26.9	-5.0	52,219	-11.7
令和2年1月	6,043	-2.0	1,640	-6.2	178	54.8	72	-4.0	1,897	-61.0	24.8	5.1	55,217	-0.5
2月	5,916	5.3	1,717	-9.2	368	150.3	73	-34.8	2,501	62.2	22.9	4.8	56,886	12.7
3月	6,554	2.5	2,274	-4.9	138	23.2	77	-31.3	9,492	-39.2	8.3	-73.0	49,016	-18.7
4月	6,185	2.8	1,124	-16.9	165	13.8	80	-23.8	730	-38.2	2.1	-92.4	20,442	-60.0
5月	6,434	4.5	851	-42.4	66	-25.8	66	-31.3	2,246	145.7	0.5	-98.6	7,694	-83.9
6月	6,418	4.8	1,372	-16.1	196	-38.0	91	-1.1	5,002	147.0	7.9	-71.8	3,174	-93.8
7月	6,405	4.5	1,485	-11.6	152	-29.3	94	0.0	3,188	46.6	17.0	-47.6	8,779	-80.8
8月	7,047	5.1	1,243	-14.8	148	87.3	95	11.8	2,668	-1.8	25.9	-58.9	18,273	-63.2
9月	6,225	1.2	1,857	-11.7	127	-39.8	99	6.5	3,494	-22.1	21.4	-34.7	28,497	-61.1
10月	6,223	4.8	1,633	26.7	174	21.7	87	22.5	4,170	-22.1	19.3	-12.8	35,442	-35.9
11月	6,005	0.7	1,588	-32.0	154	1,084.6	80	23.1	2,038	-19.6	23.3	-10.8	37,682	-21.2
12月	7,544	-0.2	1,321	-23.7	135	121.3	81	-3.6	10,075	469.4	19.4	-27.9	38,830	-25.6
令和3年1月	6,470	7.1	1,494	-8.9	83	-53.4	78	8.3	2,538	33.8	8.6	-65.2	19,058	-65.5
2月	6,025	1.8	1,743	1.5	220	-40.2	90	23.3	38,845	1,453.2	8.2	-64.1	14,694	-74.2
3月	6,479	-1.1	2,304	1.3	131	-5.1	111	44.2	11,897	25.3	13.9	66.9	23,714	-51.6
出典:	いわき市産業創出課		いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部		いわき市産業創出課(市内主要観光施設の利用者数を指数化)		いわき市市民税課	

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
 四半期統計において I は1~3月、II は4~6月、III は7月~9月、IV は10~12月を示す。

区 分	企業動向											
	生産活動				企業活動							
	いわき市 中央卸売 市場取扱 高		小名浜港 輸入通関 実績		いわき 市中小 企業融 資残高		いわき 市中小 企業融 資利率		信用保 証承諾 額		信用保 証協会 代位弁 済	
年 月	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
【年次統計】												
平成28年	14,214	-2.1	224,693	-25.7	1,235	-13.6	2.03	-0.2	17,079	-7.1	608	60.9
29年	14,058	-1.1	319,842	42.3	1,207	-2.3	1.94	-0.1	15,790	-7.5	496	-18.5
30年	13,933	-0.9	378,337	18.3	1,155	-4.3	2.04	0.1	18,640	18.1	602	21.6
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9
【四半期統計】												
令和元年 II	3,311	0.1	100,669	5.6	1,033	-10.4	2.19	-0.01	5,189	16.0	100	-44.8
III	3,435	-5.2	81,893	-8.3	977	-12.0	2.05	0.18	5,706	29.0	193	377.4
IV	3,471	-13.8	77,445	-11.6	947	-20.0	2.08	0.09	5,430	8.5	122	-58.7
令和2年 I	2,831	5.6	74,638	-12.5	921	-14.5	2.00	0.13	6,310	31.2	243	-55.8
II	3,078	-7.0	89,268	-11.3	851	-17.7	2.20	0.01	27,678	433.4	113	12.2
III	3,587	4.4	82,469	0.7	713	-27.0	2.20	0.15	21,271	272.8	142	-26.2
IV	4,054	16.8	75,231	-2.9	641	-32.3	2.20	0.12	12,703	133.9	63	-48.6
令和3年 I	3,000	6.0	69,240	-7.2	634	-31.2	2.10	0.10	18,749	197.1	113	-53.4
【月次統計】												
平成31年4月	1,176	10.2	39,673	29.0	1,050	-9.7	2.16	-0.04	1,469	6.2	0	-100.0
令和元年5月	1,053	-7.2	28,851	-27.5	1,032	-11.0	2.20	0.00	1,756	7.7	96	-
6月	1,082	-2.2	32,145	29.7	1,019	-10.6	2.20	0.00	1,964	34.7	5	-87.3
7月	1,150	-3.8	31,595	-3.4	995	-11.8	2.20	0.43	1,987	26.7	79	-
8月	1,231	-2.2	22,179	10.5	962	-13.6	2.20	0.43	1,663	14.0	22	723.5
9月	1,054	-10.1	28,119	-23.1	975	-10.6	1.75	-0.30	2,056	47.3	92	143.9
10月	1,026	-7.4	20,179	-44.5	956	-30.7	2.20	0.11	1,578	10.4	25	-5.7
11月	1,121	-1.1	31,312	23.8	945	-11.9	2.20	0.35	1,645	17.2	62	-39.2
12月	1,324	-25.8	25,954	-0.2	939	-14.4	1.85	-0.20	2,207	1.8	34	-79.3
令和2年1月	995	5.4	21,821	-37.6	928	-14.4	2.20	0.60	1,588	54.7	14	-80.0
2月	758	-19.2	25,264	-20.1	925	-14.1	1.60	-0.28	1,668	5.4	63	70.3
3月	1,079	35.1	27,553	47.1	910	-15.0	2.20	0.05	3,054	38.8	165	-62.4
4月	970	-17.5	29,469	-25.7	888	-15.4	2.20	0.04	3,832	160.9	49	-
5月	1,039	-1.3	33,087	14.7	868	-15.9	-	-	10,263	484.4	64	-33.2
6月	1,069	-1.2	26,712	-16.9	795	-21.9	-	-	13,582	591.6	0	-100.0
7月	1,225	6.5	29,546	-6.5	740	-25.6	-	-	9,497	377.9	15	-80.9
8月	1,260	2.3	20,951	-5.5	717	-25.5	2.20	0.00	6,376	283.5	0	-100.0
9月	1,102	4.6	31,972	13.7	684	-29.8	2.20	0.45	5,397	162.5	127	38.2
10月	1,141	11.2	32,673	61.9	660	-31.0	2.20	0.00	4,270	170.6	15	-41.3
11月	1,011	-9.8	25,594	-18.3	640	-32.2	-	-	3,640	121.3	13	-79.9
12月	1,902	43.7	16,964	-34.6	622	-33.7	2.20	0.35	4,793	117.2	35	2.6
令和3年1月	942	-5.3	20,031	-8.2	632	-31.9	2.20	0.00	2,314	45.7	56	290.5
2月	974	28.6	23,844	-5.6	641	-30.7	2.20	0.60	5,005	200.1	2	-97.5
3月	1,084	0.5	25,365	-7.9	628	-31.0	1.90	-0.30	11,430	274.3	55	-66.7
出典：	いわき市中央卸売市場（水産）	横浜税関		いわき市産業創出課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値） ”-”は実績なし。実績ない月は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。

四半期統計において I は1～3月、II は4～6月、III は7月～9月、IV は10～12月を示す。

区 分	企業動向											
	企業活動		倒産				中小企業DI調査					
	法人市 民税調 定額		企業倒 産件数		企業倒 産負債 総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービ ス業	総合 (全業種)
	(百万円)	前年 同期比 (%)	(件)	前年 同期比 (%)	(百万円)	前年 同期比 (%)						
年 月												
【年次統計】												
平成28年	4,532	-11.2	8	-	7,538	-	-	-	-	-	-	-
29年	4,610	1.7	9	12.5	2,295	-69.6	-	-	-	-	-	-
30年	5,111	10.9	15	66.7	9,581	317.5	-	-	-	-	-	-
令和元年	4,101	-19.8	14	-6.7	1,669	-82.6	-	-	-	-	-	-
令和2年	4,199	2.4	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】												
令和元年 II	1,273	-21.1	5	0.0	379	29.8	-	-	-	-	-	-
III	920	-14.5	2	-50.0	37	-94.4	-	-	-	-	-	-
IV	1,363	-17.9	3	-50.0	79	-99.1	-	-	-	-	-	-
令和2年 I	542	-0.7	5	25.0	629	-46.4	-	-	-	-	-	-
II	1,434	12.6	2	-60.0	55	-85.5	-	-	-	-	-	-
III	1,125	22.3	4	100.0	313	745.9	-	-	-	-	-	-
IV	1,099	-19.4	3	0.0	189	139.2	-	-	-	-	-	-
令和3年 I	392	-27.7	2	-60.0	198	-68.5	-	-	-	-	-	-
【月次統計】												
平成31年4月	156	11.3	1	-50.0	55	-71.1	-	-	-	-	-	-
令和元年5月	322	-23.4	1	-50.0	200	376.2	-	-	-	-	-	-
6月	795	-24.5	3	200.0	124	106.7	-30.0	-50.0	-40.0	-62.5	-42.9	-39.6
7月	480	0.1	1	0.0	27	-86.0	-	-	-	-	-	-
8月	352	-29.2	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
9月	88	-11.4	1	0.0	10	-79.6	-34.3	-66.7	-44.4	-50.0	-50.0	-43.6
10月	129	-22.7	2	100.0	56	-93.5	-	-	-	-	-	-
11月	902	-35.6	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
12月	332	259.6	1	0.0	23	130.0	-14.3	-20.0	-11.1	-41.7	10.0	-15.9
令和2年1月	84	-46.5	4	300.0	593	-28.6	-	-	-	-	-	-
2月	147	25.7	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
3月	312	14.2	1	-50.0	36	-81.4	-50.0	-50.0	-33.3	-50.0	-40.0	-46.3
4月	170	8.7	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
5月	301	-6.5	1	0.0	26	-87.0	-	-	-	-	-	-
6月	963	21.1	1	-66.7	29	-76.6	-71.0	-30.0	-45.5	-70.0	-90.6	-64.4
7月	647	34.8	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
8月	345	-1.8	2	-	88	-	-	-	-	-	-	-
9月	133	50.7	2	100.0	225	2,150.0	-66.6	-50.0	-81.8	-41.6	-60.0	-61.7
10月	112	-13.7	1	-50.0	90	60.7	-	-	-	-	-	-
11月	915	1.5	2	-	99	-	-	-	-	-	-	-
12月	72	-78.3	0	-100.0	0	-100.0	-59.4	-40.0	-50.0	-80.0	-70.0	-59.8
令和3年1月	84	0.5	1	-75.0	188	-68.3	-	-	-	-	-	-
2月	122	-17.0	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
3月	186	-40.3	0	-100.0	0	-100.0	-26.7	-16.6	-44.4	-75.0	-70.0	-41.3
出典：	いわき市市民 税課(法人税 割)	東京商工リサーチ(負債総額 1,000万円以上)				福島県産業振興センター(前年同月比で「良化」-「悪化」社数構 成比(各月末時点)) 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査						

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	雇 用						そ の 他						
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)				
	(倍)	前年 同期比 (%p)	(倍)	前年 同期比 (%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)	家計動向	企業動向	雇用関連	総合	
年 月													
【年次統計】													
平成28年	2.14	0.02	1.67	0.00	13,934	-1.1	12,184	0.0	-	-	-	-	
29年	2.12	-0.02	1.59	-0.08	14,073	1.0	12,117	-0.5	-	-	-	-	
30年	2.21	0.09	1.62	0.03	13,079	-7.1	10,170	-16.1	-	-	-	-	
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	-	-	-	-	
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-	
【四半期統計】													
令和元年	II	-	-	-	3,386	0.2	2,250	-11.3	-	-	-	-	
	III	-	-	-	3,688	4.8	2,485	-1.8	-	-	-	-	
	IV	-	-	-	3,500	13.4	2,408	1.9	-	-	-	-	
令和2年	I	-	-	-	3,570	22.9	2,120	-2.6	-	-	-	-	
	II	-	-	-	3,830	13.1	1,531	-32.0	-	-	-	-	
	III	-	-	-	4,558	23.6	2,041	-17.9	-	-	-	-	
	IV	-	-	-	3,869	10.5	2,068	-14.1	-	-	-	-	
令和3年	I	-	-	-	3,493	-2.2	1,801	-15.0	-	-	-	-	
【月次統計】													
平成31年4月	1.59	-0.13	1.54	0.03	1,060	3.1	754	-15.1	-	-	-	-	
令和元年5月	2.06	0.06	1.50	0.03	1,155	-4.0	779	-9.8	37.3	28.1	56.3	36.4	
	6月	2.21	0.13	1.49	-0.03	1,171	1.9	717	-8.5	-	-	-	
	7月	1.99	-0.08	1.47	-0.04	1,278	8.9	794	-4.2	-	-	-	
	8月	2.25	-0.08	1.47	-0.07	1,229	-0.3	916	-0.5	39.5	30.8	43.8	
	9月	2.06	-0.23	1.47	-0.12	1,181	6.1	775	-0.9	-	-	-	
	10月	2.22	0.15	1.52	-0.10	1,143	2.6	818	3.0	-	-	-	
	11月	2.50	-0.06	1.71	0.04	1,166	17.8	803	1.1	37.8	42.3	25.0	
	12月	2.63	-0.35	1.78	-0.01	1,191	21.3	787	1.5	-	-	-	
令和2年1月	2.13	-0.04	1.75	-0.02	1,246	22.8	740	2.8	-	-	-	-	
	2月	2.13	-0.22	1.65	-0.13	1,107	17.5	690	4.6	29.6	40.4	25.0	
	3月	2.21	-0.11	1.53	-0.23	1,217	28.4	689	-13.5	-	-	-	
	4月	1.40	-0.19	1.40	-0.14	1,161	9.5	488	-35.2	-	-	-	
	5月	1.95	-0.11	1.34	-0.16	1,162	0.6	450	-42.3	40.0	43.3	57.1	
	6月	1.81	-0.40	1.25	-0.24	1,507	28.7	593	-17.3	-	-	-	
	7月	1.83	-0.16	1.27	-0.20	1,564	22.4	671	-15.5	-	-	-	
	8月	1.83	-0.42	1.23	-0.24	1,514	23.2	691	-24.6	42.0	31.7	33.3	
	9月	2.12	0.06	1.22	-0.25	1,480	25.3	679	-12.4	-	-	-	
	10月	2.00	-0.22	1.28	-0.24	1,389	21.5	704	-13.9	-	-	-	
	11月	2.18	-0.32	1.35	-0.36	1,255	7.6	699	-12.9	38.8	30.4	46.4	
	12月	2.74	0.11	1.46	-0.32	1,225	2.9	664	-15.5	-	-	-	
令和3年1月	1.99	-0.14	1.42	-0.33	1,215	-2.5	555	-25.1	-	-	-	-	
	2月	1.81	-0.32	1.41	-0.24	1,131	2.2	557	-19.3	46.8	38.5	62.5	
	3月	1.68	-0.53	1.30	-0.23	1,147	-5.8	690	0.0	-	-	-	
出典：	ハロワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業創出課（H30.1調査開始）景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。				

2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和3年第I四半期（1～3月）の状況）

（1）C I（コンジット・インデックス）

① 概要

3月のCIは、先行指数が78.7、一致指数が63.8、遅行指数が64.3となった。

② 指数別の動向（指数は平成27年の水準を100とする）

【先行指数】3月は78.7ポイントで、3ヵ月連続で上昇した。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業在庫率指数（逆）（2ヵ月振り）、建築確認申請受付件数（3ヵ月連続）等の3指標、マイナスの指標は、新設住宅着工戸数（2ヵ月振り）、自動車新規登録台数（2ヵ月振り）等の5指標であった。

【一致指数】3月は63.8ポイントで、2ヵ月連続で下降した。

寄与度がプラスの指標は、中小企業DI（全業種）（3ヵ月振り）、小名浜港輸入通関実績（3ヵ月連続）等の3指標、マイナスの指標は、鉱工業出荷指数（2ヵ月連続）、鉱工業生産指数（2ヵ月連続）等の5指標であった。

【遅行指数】3月は64.3ポイントで、2ヵ月連続で上昇した。

寄与度がプラスの指標は、入湯税調定人員（4ヵ月振り）、観光施設利用者指数（2ヵ月連続）等の4指標、マイナスの指標は、いわき市中央卸売市場取扱高（2ヵ月振り）、法人市民税調定額（3ヵ月振り）等の4指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成27年=100）

区 分	令和2年									令和3年			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
先行指数（C I）	76.1	75.1	77.3	77.1	76.9	78.2	76.2	73.0	72.5	74.2	78.6	78.7	
前月差(ポイント)（寄与度合計）	-4.49	-1.02	2.24	-0.22	-0.22	1.25	-1.97	-3.23	-0.43	1.65	4.46	0.04	
先行系列寄与度内訳	1. 自動車新規登録台数	-1.79	-2.45	2.68	2.00	0.20	0.76	0.22	-1.43	-0.17	-0.62	1.30	-0.19
	2. 新設住宅着工戸数	-0.34	-1.79	2.63	-1.26	0.33	0.05	0.42	-0.19	-0.08	-0.99	2.31	-0.71
	3. 建築確認申請受付件数	0.89	-0.50	0.91	0.48	1.05	-0.56	-0.47	0.36	-0.61	1.47	0.10	0.47
	4. 鉱工業在庫率指数（逆）	-0.37	-0.48	0.28	0.20	0.07	0.26	-0.90	-0.58	-0.52	2.01	-0.48	0.54
	5. 新規求人倍率	-2.68	1.99	-1.71	-0.09	-1.03	2.52	-0.82	-0.68	1.53	-0.93	-1.16	0.04
	6. いわき市中小企業融資残高	-0.14	-0.21	-2.38	-1.42	0.08	-1.65	-0.38	-0.39	-0.47	0.81	0.60	-0.03
	7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	0.10	2.56	0.00	0.00	-0.73	0.02	0.02	-0.27	0.03	0.03	1.96	-0.03
	8. 一致指数トレンド成分	-0.16	-0.15	-0.17	-0.12	-0.18	-0.17	-0.05	-0.06	-0.14	-0.12	-0.16	-0.06
一致指数（C I）	67.3	66.7	66.7	69.7	63.8	65.0	70.1	67.6	65.5	66.5	65.5	63.8	
前月差(ポイント)（寄与度合計）	-3.64	-0.55	-0.06	3.03	-5.89	1.24	5.08	-2.56	-2.05	0.95	-0.94	-1.77	
一致系列寄与度内訳	1. 大型小売店等販売額	0.08	0.36	0.05	-0.06	0.11	-0.77	0.77	-0.88	-0.19	1.49	-1.08	-0.61
	2. 鉱工業生産指数	-1.39	0.25	0.81	0.79	-1.63	1.05	1.62	-1.68	-0.48	0.22	-1.15	-0.93
	3. 鉱工業出荷指数	-0.85	-0.15	-0.02	1.66	-1.17	0.20	0.61	-0.49	-0.03	0.68	-0.68	-1.20
	4. 鉱工業在庫指数	0.16	0.42	0.51	-0.62	-0.58	-0.42	0.89	0.54	-0.29	-0.16	-0.52	-0.44
	5. 小名浜港輸入通関実績	-0.07	0.33	-0.40	0.20	-0.17	0.25	0.39	-0.32	-1.09	0.40	0.41	0.08
	6. 有効求人倍率	-0.01	-0.26	-1.53	0.12	-0.94	-0.92	0.81	0.08	0.31	-0.20	0.37	-0.54
	7. 高速道路出入交通量	-1.55	-1.48	1.75	0.97	-1.49	1.69	0.01	0.22	-0.41	-1.47	1.73	0.68
	8. 中小企業DI（全業種）	-0.01	-0.01	-1.21	-0.01	-0.01	0.16	-0.01	-0.01	0.12	-0.01	-0.01	1.19
遅行指数（C I）	55.2	54.4	54.5	58.8	57.8	60.3	62.3	62.9	65.2	60.8	63.7	64.3	
前月差(ポイント)（寄与度合計）	-3.24	-0.86	0.17	4.22	-0.95	2.53	2.01	0.56	2.31	-4.40	2.84	0.66	
遅行系列寄与度内訳	1. 公共工事受注額	-0.17	0.35	0.77	0.22	-0.08	-0.34	-0.41	-0.21	1.43	0.09	1.42	0.26
	2. 入湯税調定人員	-1.29	-1.22	-1.19	1.41	1.42	0.44	1.47	0.56	-0.22	-1.51	-0.92	1.59
	3. 観光施設利用者指数	-1.28	-1.20	1.34	1.37	-1.31	1.45	1.46	1.19	-1.46	-1.51	0.35	1.38
	4. 法人市民税調定額	-0.23	-0.43	0.29	0.34	-0.59	0.75	-1.08	0.07	-0.16	0.05	0.08	-0.72
	5. 雇用保険受給者実人員（逆）	1.17	0.47	-1.27	0.03	0.02	0.15	0.44	0.45	0.66	-0.20	0.55	0.55
	6. いわき市中央卸売市場取扱高	-1.28	1.34	0.36	0.93	-0.26	-0.60	1.03	-1.44	1.53	-0.62	0.35	-0.79
	7. いわき市中小企業融資利率	-0.02	-0.05	0.00	0.00	0.00	0.80	-0.86	0.00	0.64	-0.60	1.15	-1.57
	8. 一致指数トレンド成分	-0.12	-0.11	-0.12	-0.09	-0.14	-0.13	-0.04	-0.05	-0.12	-0.10	-0.13	-0.05

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

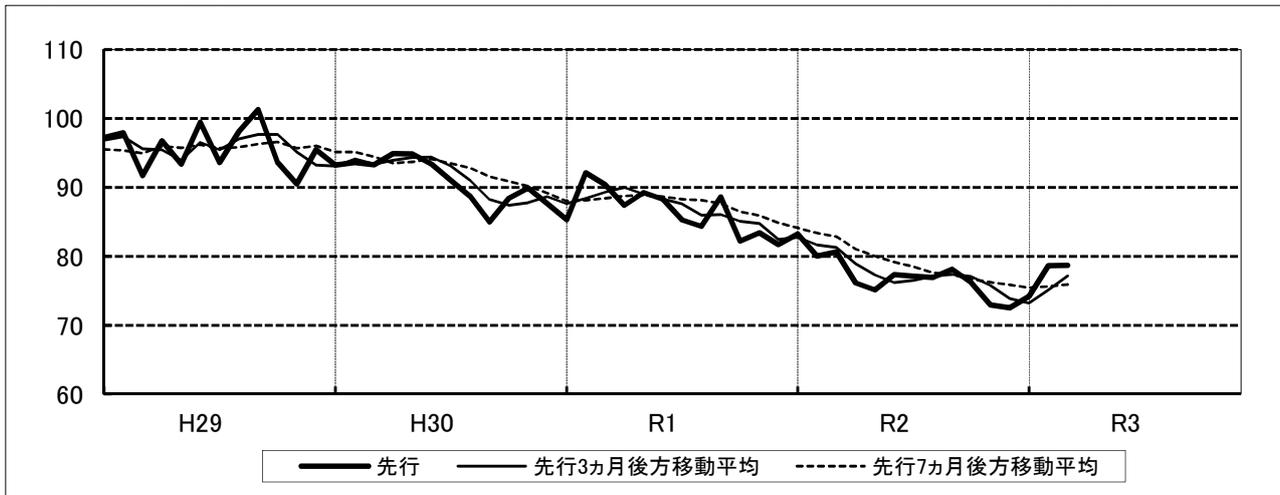
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

④ CIの推移

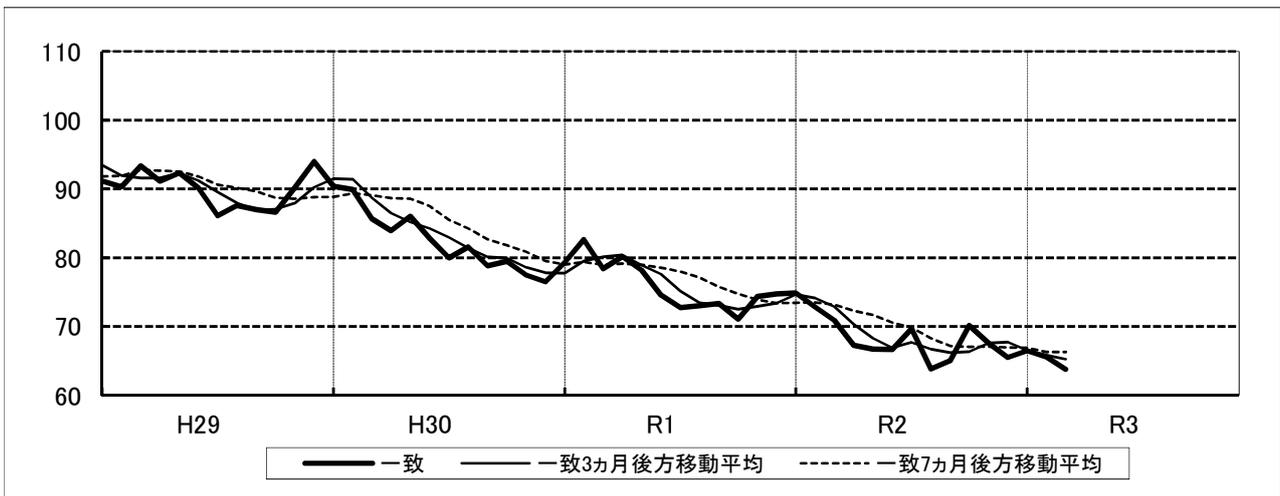
・先行指数の推移

(平成27年 = 100)



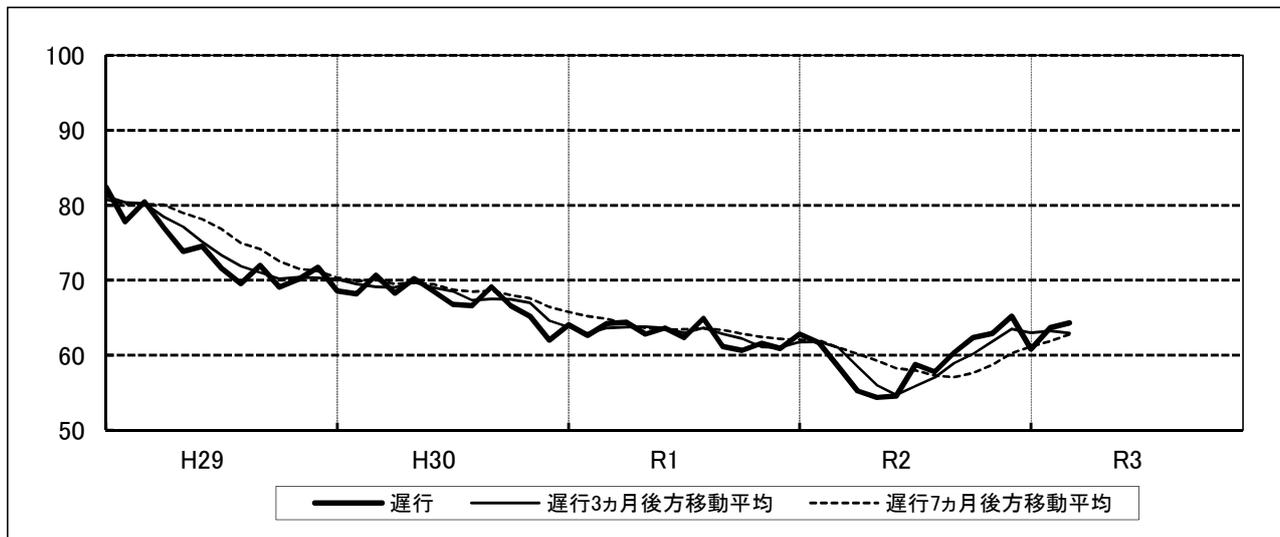
・一致指数の動向

(平成27年 = 100)



・遅行指数の動向

(平成27年 = 100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
24	101.3	103.0	96.2	115.4	117.2	121.6	116.4	106.2	100.0	107.1	102.1	104.7
25	105.7	110.2	115.6	110.7	117.4	118.1	127.0	127.1	118.7	118.0	129.8	120.6
26	120.8	131.5	123.4	102.7	113.1	112.9	113.6	112.3	111.7	111.2	105.6	109.9
27	109.4	98.9	105.6	98.1	96.0	99.3	101.0	98.9	99.1	98.7	99.2	95.7
28	95.9	90.6	90.2	94.6	94.1	95.2	98.9	94.6	89.7	94.7	96.4	97.0
29	97.2	97.9	91.7	96.7	93.4	99.4	93.6	98.1	101.3	93.7	90.5	95.5
30	93.2	93.6	93.3	94.9	94.9	93.4	91.0	88.7	85.0	88.4	89.9	87.6
1	85.3	92.1	90.4	87.4	89.2	88.3	85.3	84.3	88.6	82.2	83.4	81.7
2	83.3	80.0	80.6	76.1	75.1	77.3	77.1	76.9	78.2	76.2	73.0	72.5
3	74.2	78.6	78.7									

・一致指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
24	86.7	91.9	104.6	98.2	95.8	92.8	93.0	97.1	96.9	100.4	105.4	104.6
25	104.6	106.9	108.5	106.4	105.9	102.2	105.1	108.4	103.7	102.6	104.4	105.5
26	104.2	101.1	108.0	101.4	105.5	105.7	104.6	107.0	105.4	103.7	101.2	101.5
27	102.3	100.8	99.4	102.5	100.7	99.2	101.0	102.2	102.3	99.4	96.6	93.5
28	94.8	95.2	88.7	91.9	87.9	90.8	89.6	87.6	91.8	93.3	94.9	94.5
29	91.1	90.3	93.4	91.1	92.4	90.2	86.1	87.6	87.0	86.6	90.2	94.0
30	90.4	89.9	85.7	83.9	86.0	82.8	80.0	81.5	78.8	79.5	77.5	76.5
1	79.3	82.7	78.4	80.2	78.2	74.6	72.8	73.0	73.4	71.1	74.4	74.7
2	74.9	72.8	70.9	67.3	66.7	66.7	69.7	63.8	65.0	70.1	67.6	65.5
3	66.5	65.5	63.8									

・遅行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
24	62.9	67.3	72.8	78.0	87.6	90.6	91.8	94.9	98.2	106.1	105.9	110.0
25	108.9	108.2	106.2	111.9	113.4	108.0	110.2	111.1	108.0	108.4	114.1	109.8
26	114.1	112.2	112.4	110.8	109.9	108.6	108.4	108.8	104.9	107.2	104.0	102.0
27	105.6	105.3	108.4	104.2	104.1	100.2	99.8	97.1	97.1	94.2	91.8	92.1
28	89.1	90.1	83.2	83.7	81.7	79.7	82.1	80.4	77.5	81.8	80.2	80.9
29	82.4	77.8	80.5	77.0	73.9	74.5	71.6	69.5	72.0	69.1	70.1	71.7
30	68.6	68.2	70.7	68.3	70.2	68.5	66.8	66.6	69.1	66.6	65.2	62.0
1	64.0	62.6	64.2	64.4	62.8	63.6	62.4	64.9	61.1	60.7	61.6	60.9
2	62.8	61.7	58.5	55.2	54.4	54.5	58.8	57.8	60.3	62.3	62.9	65.2
3	60.8	63.7	64.3									

(2) DI (デフレーション・インデックス)

① 概要

【先行指数】 3月は、85.7%と2ヵ月連続で50%を上回った。

【一致指数】 3月は、50.0%と2ヵ月振りに保ち合いとなった。

【遅行指数】 3月は、28.6%と2ヵ月振りに50%を下回った。

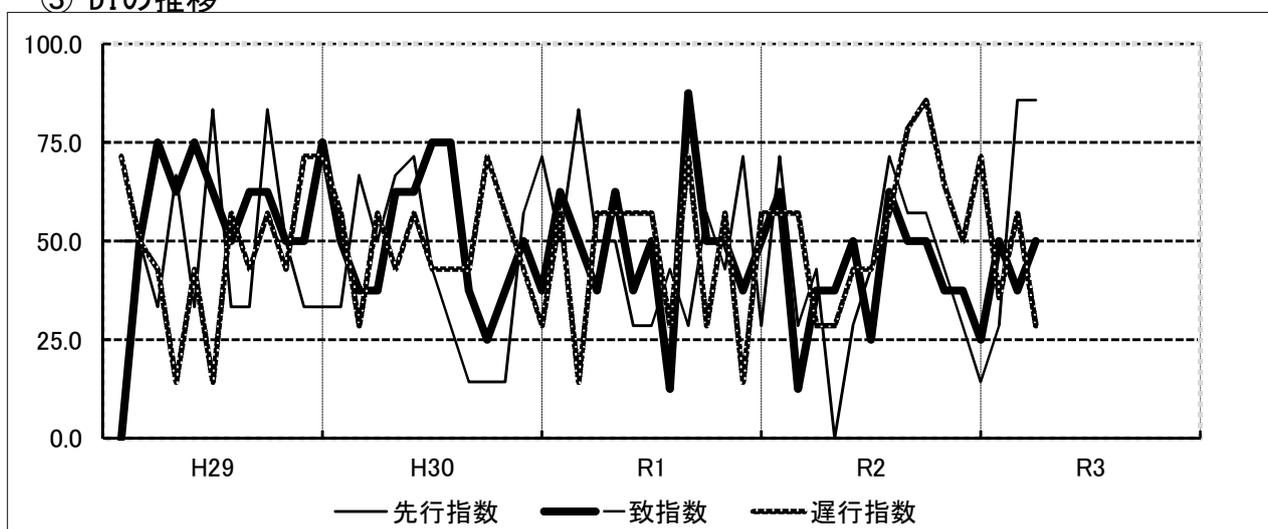
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (-景気動向指数利用の手引き-参照)

② DIの推移

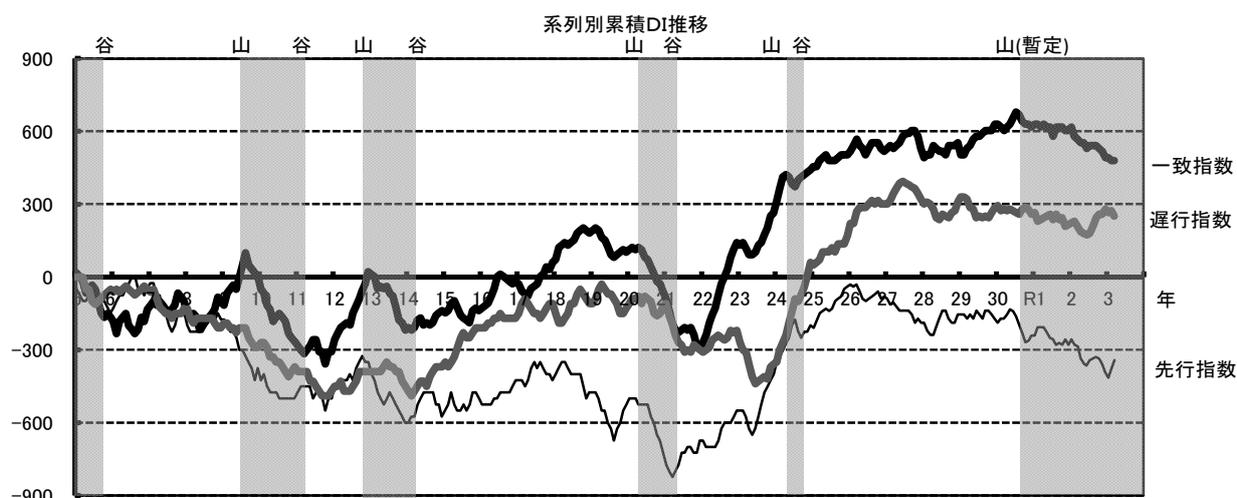
区 分	令和2年												令和3年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
先行指数 (D.I)	0.0	28.6	42.9	71.4	57.1	57.1	42.9	28.6	14.3	28.6	85.7	85.7			
一致指数 (D.I)	37.5	50.0	25.0	62.5	50.0	50.0	37.5	37.5	25.0	50.0	37.5	50.0			
遅行指数 (D.I)	28.6	42.9	42.9	57.1	78.6	85.7	64.3	50.0	71.4	35.7	57.1	28.6			

注) DIは、先行(7指標)、一致(8指標)、遅行(7指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

$$\text{累積DI}(t) = \text{累積DI}(t-1) + (\text{DI}(t) - 50)$$

注2) DI及び累積DIは景気の方角性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) 影の部分は国における景気後退期を示す。

景気動向指数利用の手引き

(1) 景気動向指数の概要

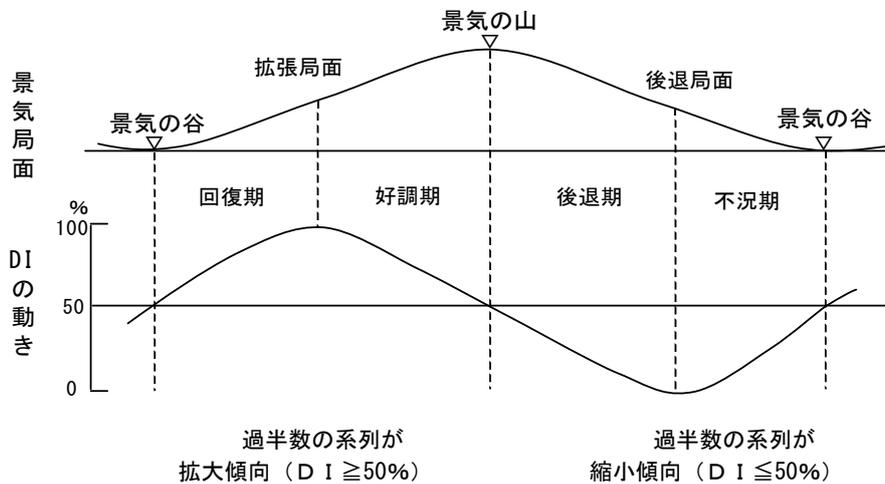
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方方向性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。
- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

(2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等8つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.htmlを参照）。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

(3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では8つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば $3 \div 8 = 0.375$ （DI=37.5%）と計算する。
- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



(4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S 26. 6.	S 26. 10.	第9循環	S 52. 10.	S 55. 2.	S 58. 2.
第2循環	S 26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10(暫定)	

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項目		内容		原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワークいわき
	6 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課
	7 いわき市景気ウォッチャー先行判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業創出課
一致系列	1 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業創出課
	2 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	3 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	4 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	5 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通過して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	6 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワークいわき
	7 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
	8 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合-減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
遅行系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	3 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第I四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業創出課
	4 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	5 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワークいわき
	6 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	7 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課

注) 季：X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前：原数値の前年同月比、原：(四半期)原数値、移：12ヵ月移動平均
逆：景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

【参考】国・県の動き

1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	<p>(我が国経済の基調判断)</p> <p>景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。</p> <ul style="list-style-type: none">・個人消費は、このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。・設備投資は、持ち直している。・輸出は、緩やかな増加が続いている。・生産は、持ち直している。・企業収益は、感染症の影響により、非製造業では弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。 <p>企業の業況判断は、厳しさが残るなかで、持ち直しの動きに足踏みがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。・消費者物価は、横ばいとなっている。 <p>先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p> <p>(内閣府「月例経済報告」令和3年5月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>県内の景気は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none">・個人消費……一部に弱い動きがみられる。・建設需要……高水準にあるものの、弱い動きがみられる。・生産活動……一進一退の状況が続いている。・雇用・労働……厳しい状況にあるものの、一部に緩やかな改善がみられる。・物価……企業物価指数は前年を上回り、消費者物価指数は前年を下回っている。・企業・金融……企業倒産は発生しなかった。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。 <p>(福島県「最近の県経済動向」令和3年5月公表分)</p>

2 景気動向指数(CI)

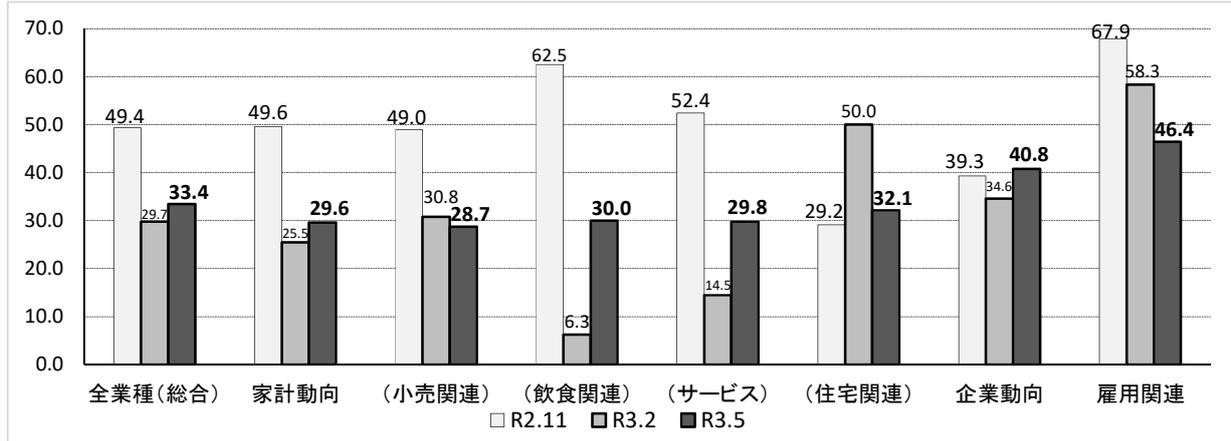
(1) 国の動向	<p>3月のCI(速報値・平成27(2015)年=100)は、先行指数:103.2、一致指数:93.1、遅行指数:93.3となった。先行指数は、前月と比較して4.3ポイント上昇し、10ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は1.93ポイント上昇し、9ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は1.92ポイント上昇し、7ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>一致指数は、前月と比較して3.2ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は1.30ポイント上昇し、9ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は1.53ポイント上昇し、5ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月と比較して2.2ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.87ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.24ポイント上昇し、18ヵ月ぶりの上昇となった。</p> <p>(内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和3年5月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>1 概 括</p> <p>3月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数96.2ポイント、一致指数69.5ポイント、遅行指数86.0ポイントとなった。</p> <p>先行指数は、前月(89.0ポイント)を7.2ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。</p> <p>一致指数は、前月(65.0ポイント)を4.5ポイント上回り、3ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月(85.6ポイント)を0.4ポイント上回り、3ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>2 一致指数の動向</p> <p>寄与度をみると、雇用保険受給者実人員が7ヵ月連続のプラス、有効求人倍率が6ヵ月連続のプラス、所定外労働時間指数が2ヵ月連続のプラス、鉱工業生産指数、最終需要財出荷指数が2ヵ月振りのプラス、生産財出荷指数が3ヵ月振りのプラス、百貨店・スーパー販売額(既存店)が5ヵ月振りのプラスとなった。</p> <p>一方、手形交換金額(1枚当たり)が3ヵ月振りのマイナス、建築着工床面積(鉱工業)が4ヵ月振りのマイナスとなった。</p> <p>内訳をみると、鉱工業生産指数がプラス1.96ポイント、最終需要財出荷指数がプラス1.34ポイント、生産財出荷指数がプラス0.98ポイント、所定外労働時間指数(全産業)がプラス0.74ポイント、有効求人倍率がプラス0.64ポイント、雇用保険受給者実人員がプラス0.56ポイント、百貨店・スーパー販売額(既存店)がプラス0.48ポイントでこれらの指標の動きが上昇に寄与した。</p> <p>(福島県「福島県景気動向指数」令和3年5月公表分)</p>

II いわき市景気ウォッチャー調査：令和3年5月時点

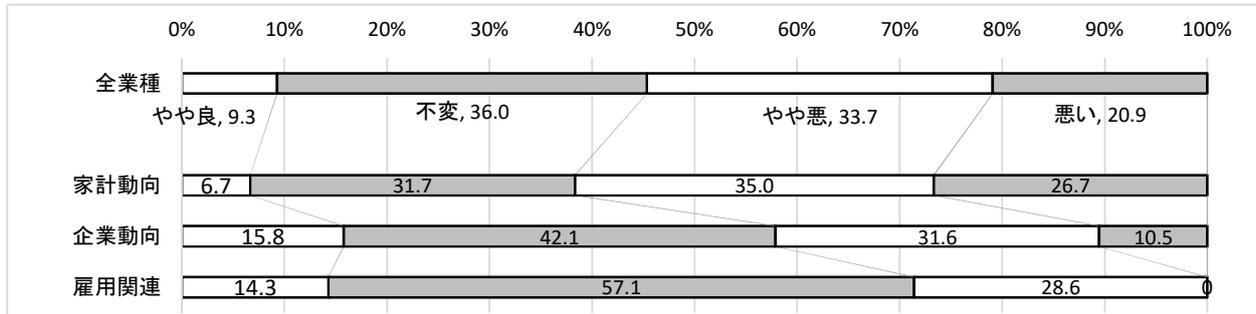
1 景気の現状について

(1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは33.4と、前回より3.7ポイントの上昇となった。家計・企業動向関連は上昇したが、雇用関連は低下した。
- 主要業種別では、家計動向関連が29.6と前回より4.1ポイント上昇した。家計の内訳では飲食・サービスが上昇し、小売・住宅関連が低下した。企業動向関連は40.8と6.2ポイント上昇し、雇用関連は46.4と11.9ポイント低下した。



- 全業種（総合）の回答内容を見ると、3カ月前と比べて「良くなっている」は0%、「やや良くなっている」が9.3%、「変わらない」が36.0%、「やや悪くなっている」が33.7%、「悪くなっている」が20.9%となった。



(2) 現状判断の理由

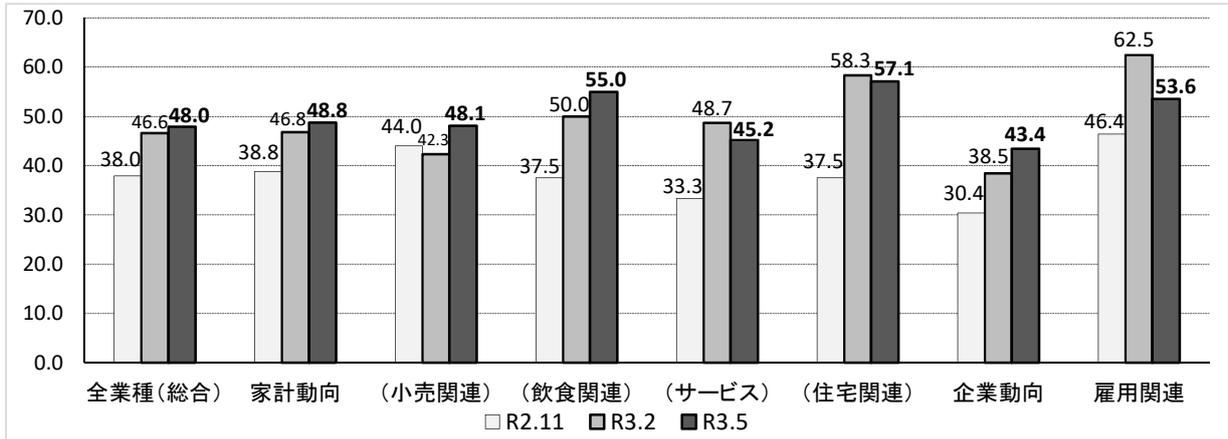
現状判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向では「求職者数の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	1	4	25	30	1. 受注量や販売量	2	3	7	12	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	3	7	7	17	2. 受注価格や販売価格	0	0	0	0	2. 求職者数の動き	0	3	1	4
3. 単価の動き	0	0	2	2	3. 取引先の様子	1	5	1	7	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	0	5	2	7	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	1	0	1	2
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	1	0	1
6. その他	0	3	1	4										
合計	4	19	37	60	合計	3	8	8	19	合計	1	4	2	7

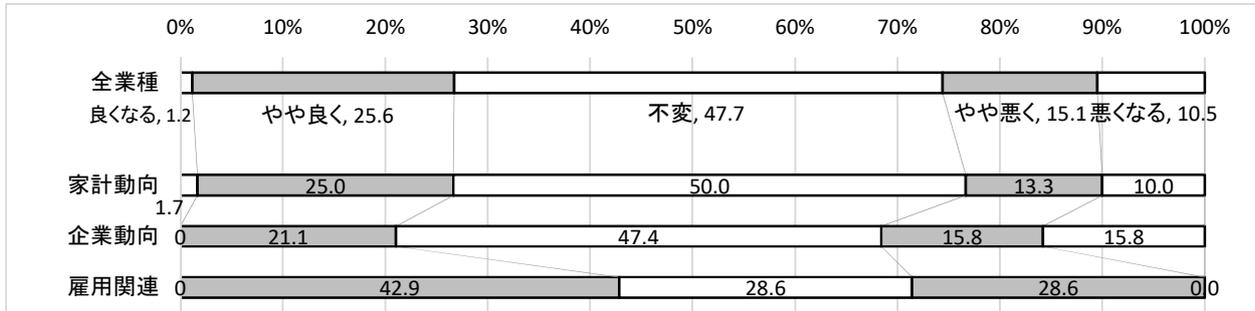
2 景気の先行きについて

(1) 先行き判断DI

- 全業種（総合）の先行き判断DIは48.0と、前回より1.4ポイントの上昇となった。家計・企業動向関連は上昇したが、雇用関連は低下した。
- 主要業種別では、家計動向関連が48.8と前回より2.0ポイント上昇した。家計の内訳では小売・飲食関連が上昇し、サービス・住宅関連は低下した。企業動向関連は43.4と4.9ポイント上昇し、雇用関連は53.6と8.9ポイント低下した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、2~3ヵ月先には「良くなる」は1.2%であり、「やや良くなる」が25.6%、「変わらない」が47.7%、「やや悪くなっている」が15.1%、「悪くなっている」が10.5%となった。



(2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向関連では「求職者数の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	8	12	6	26	1. 受注量や販売量	4	4	3	11	1. 求人数の動き	1	0	0	1
2. 販売量の動き	2	6	2	10	2. 受注価格や販売価格	0	0	0	0	2. 求職者数の動き	0	1	1	2
3. 単価の動き	0	1	2	3	3. 取引先の様子	0	5	3	8	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	3	8	4	15	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	1	0	0	1
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	1	1	1	3
6. その他	3	3	0	6										
合計	16	30	14	60	合計	4	9	6	19	合計	3	2	2	7

3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

(新型コロナウイルスの影響等について)

- コロナ禍で飲食店やその周辺業界は壊滅的状況になっている。実際に当社においては代行業の個人事業主を一時的ではあるが、今現在雇い入れている。飲食店以外の周辺業者への補償をもっと手厚くしないと生活自体厳しいし、更に様々な業界に波及すると思う。
- コロナ再拡大に伴い、消費者の自粛疲れが広がっているように感じられる。来客者の動向を見ても、消費意欲の低下が顕著に感じられる。
- お客様の動きが鈍い。来客数が減少しているので、回復してくるような動きにまだなっていない。
- 県のコロナ対策で市民の外出自粛がとられ、行動を控える為、往来が減少する。その為、来客数も減少し、販売量も減少する。
- コロナ禍の影響により、来店客数の減少、滞在時間の短縮等、我々運営側も、店舗も大変疲弊してしまっている。
- コロナで悪くなっているはずなのに車の動き、客数等を考えるとコロナ疲れなのかもしれない。人流は減っていないと感じる。見えない漠然とした不安が前向きな方向へいついていない原因かと思う。
- コロナの人数が増えると、商店街への人通りが激減している。
- 市内感染が増えてからSC（ショッピングセンター）の来店客数が激減している。
- 生活の不安から購買意欲は下がっていると感じる。
- 高卒求人受理説明会の中止や客先訪問の中止・延期により事業・景気共に停滞気味である。
- とにかく、コロナウイルス感染症が終息しなければ景気回復はしない。毎日、街のなかが静まりかえっている。
- 弊社では、コロナによる影響が出始めた頃から、youtubeチャンネル等の来場が増え続け、2021年5月は、この5年で最高の契約数を記録した。
- コロナの影響は業種によって幅がある。
- 弊社は季節的な商売の為、季節に依り景気が左右される。
- まずはコロナが落ち着いてくれないと、どうにもならない。
- 時短自粛要請が有る中で売上があがるはず無い。補償をしっかりと欲しいものである。

(新型コロナワクチンについて)

- 5月で時短が終わるが、お客様の動きが大きく変わることはむずかしい。ワクチンが出回り、安心を保証されると変わると思う。
- ワクチン接種が市民に行き渡ったら、景気は回復に向かうと思う。来月からはオリンピックムードも高まり、経済的な数値は高くなるのではと考えられる。
- ワクチン接種が若い世代まで行き届き、生活に安全、安心が確保されないと通常の生活に戻らず景気も戻らないと思う。我々飲食業界は最悪の状況にあり、取り引き先なども痛手をおっている。
- コロナワクチンの接種が終われば、若干回復して行くと思う。
- ワクチン接種状況による景気の動きに注目している。
- ワクチン接種の動向とインフルエンザに対する正しい知識の広まりが重要。

(今後の見通し等について)

- コロナの影響（世帯収入動向、就労状況、法人資金繰りetc）が従来はプラスに働く面もあったが、現状、マイナス面の要素が拡大している。又、収束に向かったとしても、ライフスタイルの変化（節約志向、行動範囲の縮小）は景気にとって構造的にマイナスに働く懸念を感じる。
- 緊急事態宣言中なので、景気に関しては論外であるが、当地域の場合、感染者数の縮小で劇的に景気が回復するという淡い期待がないわけではない。
- コロナが終息してもお客様の流れはコロナの前の時と同じ様にはならないと思う。
- コロナの問題が解決・改善されれば景気は良くなると思う。
- 新型コロナウイルスの感染状況により左右される。

- いわき市景気ウォッチャー調査の概要 -

(1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

(2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連81人、企業動向関連23人、雇用関連8人の合計112人を調査客体とする。今回（令和3年5月）の調査の回答数は86人（有効回答率76.8%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	81人	72%	60人	
小売関連	36人	32%	27人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	10人	9%	5人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	26人	23%	21人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	8%	7人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	23人	21%	19人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	7%	7人	人材派遣、職業紹介等
合計	112人	100%	86人	

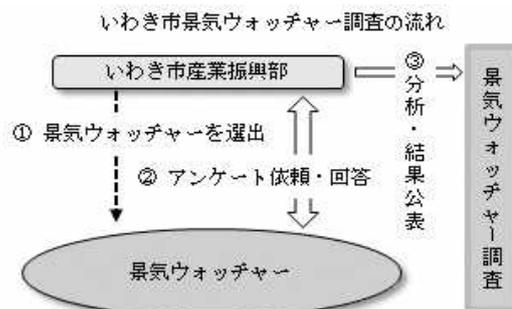
(3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

(4) 調査方法

いわき市産業創出課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業創出課と外部調査機関（㈱社会システムプランニング）が協力して行う。調査結果は、産業創出課が原則として調査の翌月に公表する。



(5) DIの算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりDIを算出する。

DIは50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3カ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3カ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票（令和 年度第 回）

平成30年 月 日

ご回答者

ご所属・お名前 _____ 様

あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。

該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。

【質問1】 今月の景気は3カ月前と比べて、良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
【質問2】 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【質問3】 あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、 2～3カ月先は、今より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
【質問4】 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【自由回答（市内景気動向に関して）】	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業創出課
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 1 1 2 6 (直通)
e-mail : sangyosoushutsu@city.iwaki.lg.jp
